SCM 共同ネット研究会

— 2015.7 —

NEWS ダイジェスト

一般社団法人 SCM共同ネット研究会 代表理事 滝沢保男
〒105-0023　東京都港区芝浦1-13-10 第三東運ビル8F
TEL：03-5419-8239　FAX：03-3455-7023　URL：http://www.scm-net.jp

一般社団法人SCM共同ネット研究会（滝沢保男理事長）は，来る７月１日に法人化５期目を迎える。戦略モデル「SCM次世代循環型異業種サプライチェーンネットVer.3（以下，次世代SCM）」を核に，６つの事業（次世代共同物流・ICLT・環境・物販・コンサル・国際アジアSCMネット）を推進，第４期からは分野別の各次世代SCM研究会活動（生鮮流通・食品流通・医薬品流通・通販流通）の異業種共同ネットの組織活動の取組みを開始した。

第５期からは，物流系会員に対し，サポート支援を異業種の会員が行うというスタイルを構築する。共同物流ネットワークの組織構造から市場構造の変化に速やかに対応することが目的。

会員の経営課題解決・人財不足支援に繋がる高付加価値共同ビジネス機会創出に繋げ，異業種の組織活動の強みを生かした形で，各事業が連携，共同型のトータルソリューションサービスの提供，永続的な異業種共同組織活動の実現を目指す。

また，地域密着型の異業種交流を目的に交流会の取組みも引き続き行っていく。

第５期では10地域以上の異業種交流会の開催を目標に進めていく。新会員の中で，物流をはじめ，コンサルタント・弁護士・公認会計士・税理士・社会保険労務士・行政書士・人財育成支援等の各専門家が加わり，さまざまな角度から組織活動を支援することが可能となった。　（本部事務局）

〈6月度本部活動日程〉

・３日/第29回理事会・第31回事業戦略会議開催
・11日/第５回食品流通次世代SCM研究会開催
　第４回SCM合同会議開催
　第２回群馬県異業種交流会開催

第29回理事会・第31回事業戦略会議開催

６月3日，税理士法人東京税経センター５階会議室で開かれた。

理事会では，第４期の組織活動・各事業・各分野別の次世代SCM研究会の活動・各地域別の異業種交流会・永続するための収益構造等の課題の検討を行ったほか，第５期推進組織体制の検討，各事業の方針等を決定した。

事業戦略会議では次世代共同物流・ICLT・環境・物販・コンサル・国際の６つの事業を第５期の推進事業として正式決定した。

第5回食品流通次世代SCM研究会開催

紀文フレッシュシステム㈱本社会議室において６月11日，第５回食品流通次世代SCM研究会を開催した

新規会員１社も含めた９名が参加，各会議の報告並びに，各事業の取組進捗及び食品流通次世代SCM研究会の第５期の取組みについて検討を行った。

主な会議内容は下記の通り

①第４期課題・第５期の目標の検討・具現化に向けた取組みの検討
②７月15日食品流通次世代SCM戦略セミナー開催に向けた推進検討
③入退出管理システムの勉強会

次回は8月18日開催予定。

7月15日食品流通次世代SCMセミナー・交流会を開催

来る７月15日，「食品流通次世代SCMセミナー」を東芝テック㈱２階大会議室で開催する。

前回は約100名の方が来場され，異業種間での組織活動推進に高い評価をいただき，新たに13社の新規入会に繋がった。

今回のセミナーの基調講演は当会の戦略テーマである次世代SCMの次世代SCMのアウトラインについて，日本大学教授の鈴木邦成様をお招きし，情報システム・循環型物流の流れ・人財育成等についてご講演いただくほか，当会の取組みや食品流通次世代SCM研究会の活動，各事業活動，会員企業等の紹介を行う予定。

またセミナー終了後には名刺交換会や企業交流を目的とした交流会も開催する。お申し込みは事務局へのFAXか当会HPまで。

一般社団法人 SCM 共同ネット研究会　新規会員募集中

資料請求・ご相談はこちら☞ TEL　03-5419-8239　E-mail　info@scm-net.jp

SCM 会員紹介（その 38）

東京エレクトロニツクシステムズ株式会社

宇宙から航空，交通，気象，情報，通信等の分野において，システムから設計，製造，工事，据付，サービスまで，トータルに社会のインフラ造りに貢献しています。

各事業分野で培った信頼性の高いコア技術で，システム開発やソリューション提案を受託し，お客様の開発課題を解決します。

今回弊社で取り扱う製品の中でこの３月に，SCM共同ネット研究会を通じて納入した「入退室管理システム」のご紹介をさせていただきます。

≪１扉だけ≫のご要望から生まれたシステムは，課題であった低価格化と施工の簡易化を実現！

多くのお客様から入退管理システム導入につきご相談を頂く際，定義される問題点は大きく２つあります。

１つ目は価格，２つ目に施工です。この問題を弊社のシステムでは同時に安価でかつシンプルに解決することが可能です。その理由は，≪コントローラ一体型システム≫の実現によるものです。「事務所入口だけで良いのに」「サーバ室だけを管理したいので」というお客様の声をよく耳にします。

ご存知の通り，一般的な入退管理システムの最小構成は，【管理PC＋カードリーダ＋入退コントローラ】となっています。中でも入退コントローラについては１扉管理用，８扉管理用，16扉管理用など，管理対象扉数毎に仕様が分かれている為，お客様の管理対象扉に合わせた（対象扉数よりも多い）入退コントローラを購入することになります。この場合，管理扉数が４扉であった場合であっても「８扉管理用」を購入することになるのです。

弊社リーダは≪入退コントローラ一体型システム≫になっているため，必要数に合わせたカードリーダを購入いただくことで適切なシステム構築が可能です。また，入退コントローラのサイズはさまざまですが，なかには分電盤サイズのものがあり，設置場所の検討が必要になることもありました。この場合も≪コントローラ一体型システム≫のため，扉周辺のみの工事で済むため，施工から稼働まで迅速な対応が可能です。

離れた拠点間でも一元管理が可能！

全国に点在する支社店の入退管理情報を本社所在の管理部門で制御，監視が可能です。例えば関西支社で勤務中の方が人事異動により本社に異動となった場合，他社システムの中には，本社で個人IDから再登録を行い，入室条件等を再設定する場合があります。

弊社システムの場合，本社所在の管理部門で管轄している場合は再登録の必要はありません。大規模な人事異動はもちろんですが，事業所の統廃合，新規工場の稼働等の場合であっても新規発行ID以外の登録済みIDを再登録する必要がなく，継続して運用することができます。

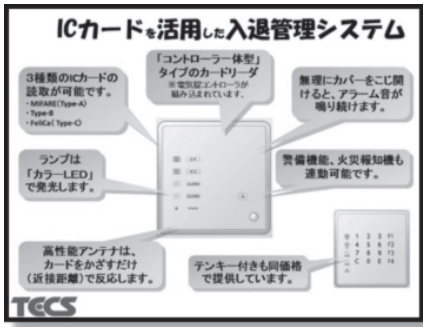
高度な入退管理要望にも対応！

アンチパスバック（共連れ，操作忘れ防止），ツーパーソン照合（２名の連続照合で開錠）等の高セキュリティー化にも対応します。１台のカードリーダには6,000名の個人IDが登録でき，システムを拡張すると検定情報は最大10万人，扉では最大「2,000扉」の管理を行うことが可能です。

弊社では機器の開発，システム構築まで一貫した開発・生産体制がございますので，お客様のご要望に合わせたシステム構築を提供しています。

会社概要

設　立：1992年（平成４年）７月１日
代表者：取締役社長　足立　栄男
資本金：2,000万円
従業員：345名（2013年３月末）



東京エレクトロニツクシステムズ株式会社
〒212-0001　川崎市幸区小向東芝町1番地
TEL（044）548-5185　FAX（044）533-4549
E-mail:sales@toshiba.co.jp URL:http://www.tecs. toshiba.co.jp/